

(様式 1-3)

福島県 (大熊町) 帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成30年10月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	18	事業名	大熊町大野駅周辺等整備事業	事業番号	(1)-8-3
交付団体	大熊町		事業実施主体 (直接/間接)	大熊町 (直接)	
総交付対象事業費	356,323 千円		全体事業費	356,323 千円	
帰還環境整備に関する目標					
<p>本町においては、東日本大震災及び原発事故により多くの生命・財産の喪失に加え、全町民が避難を余儀なくされており、本町 (町及び自宅) へ帰還するまでの避難生活が長期化している。</p> <p>このような中、本町では「大熊町第二次復興計画」(平成27年3月)において、避難先での安定した生活の支援と併せて、「帰町を選択できる環境」の整備を進めることとしている。</p> <p>この「帰町を選択できる環境」の整備の一環として、既に復興拠点として帰還に向けたインフラ整備を復興拠点の大川原地区に先行しているが、今後の復興に備え震災前の町中心部に対しても帰還できる準備を進める予定となっている。については町中心部に対し各調査等を実施し帰還後の町の復興を促進していくこととする。</p>					
事業概要					
<p>当町は、平成31年内に大川原地区の復興拠点を一部完成させ帰還することを目標としており、帰還後の復興の一部として下野上地区、大野駅の復興を目指す上で該当区域の調査等を実施する。</p> <p>本事業では帰還後の町中心部 (大野駅周辺) 復興に係る調査を実施するものとする。</p> <p><大熊町第二次復興計画></p> <ul style="list-style-type: none">・P26 (2)大熊町土復興に関する施策・事業 ③町土での生活、就業<ul style="list-style-type: none">・一時帰町の町民や作業員・研究者が安心して暮らせる環境・P28 (1)暮らしの快適性向上プロジェクト ①プロジェクトの背景と狙い、コンセプト<ul style="list-style-type: none">・安心・快適・安定が確保された住環境を提供					
当面の事業概要					
<p><平成30年度></p> <ul style="list-style-type: none">・該当エリアに対する調査の実施・基本設計業務、他					
地域の帰還環境整備との関係					
<p>本町においては、東日本大震災及び原発事故により多くの生命・財産の喪失に加え、全町民が避難を余儀なくされており、本町 (町及び自宅) へ帰還するまでの避難生活が長期化している。</p> <p>帰還後も全ての町民が避難生活を終えるわけではなく、町として全体の復興を目指す上で町の中心部の復興が必要であり町全体としての帰還促進が図られる。</p>					
関連する事業の概要					

※効果促進事業等である場合には以下の欄に記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	